



水土里情報を活用した改良区の受益管理について紹介します。

(1/2)

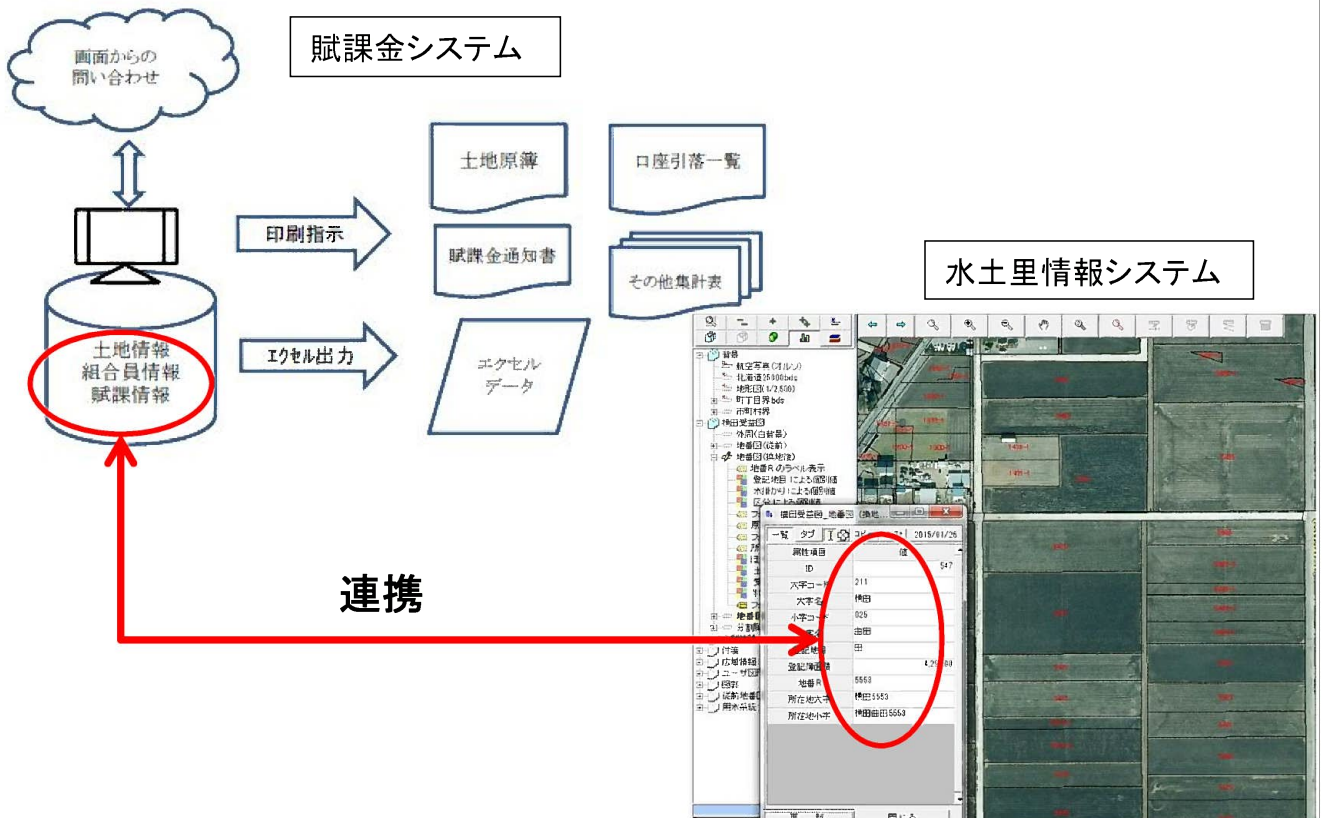
今回紹介する団体: 水土里ネット千葉、県内土地改良区

取組概要

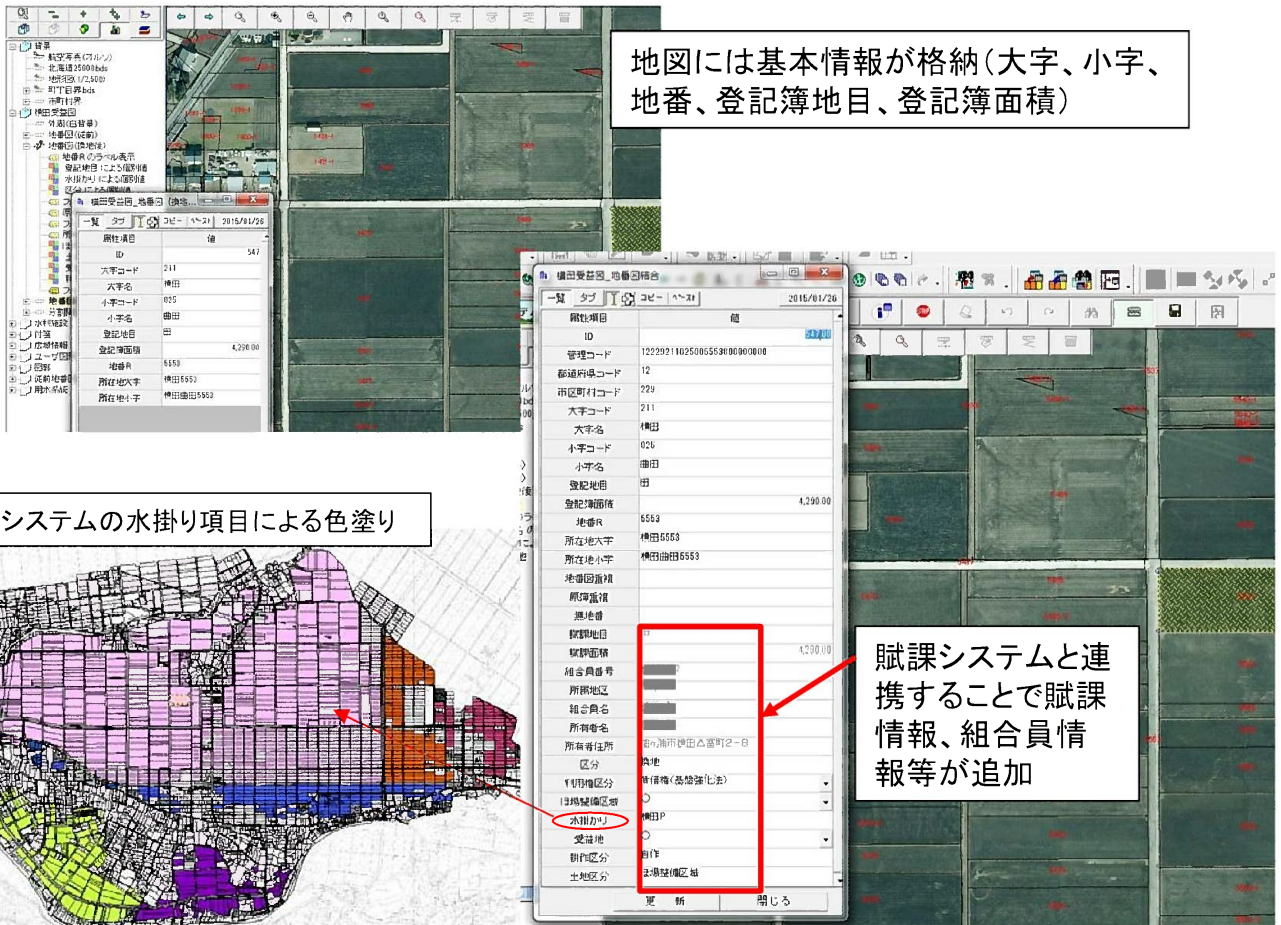
内容: 水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆データを活用し、水土里ネット千葉が開発した賦課金システムと連携することで土地原簿に基づく土地改良区の受益管理が可能となり、土地改良区等の事務の省力化や情報の共有化につながった。

経緯: 県内では、賦課の基礎となる土地原簿や受益を管理するための地番図が紙ベースの改良区もあり、原簿や土地の所在確認等に多くの時間と労力を費やしており、事務の省力化を図る上での課題となっていた。

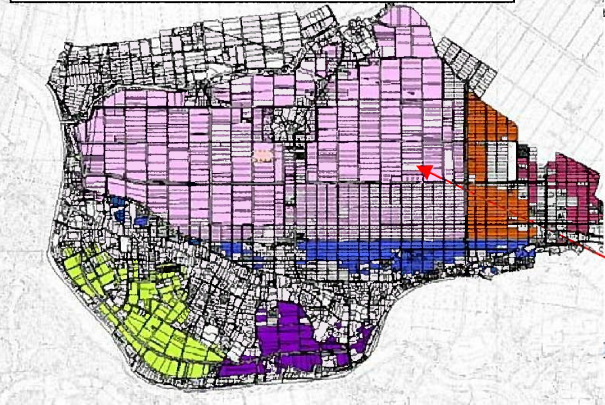
このため、改良区の事務支援として開発した賦課金システムと水土里情報システムの連携を検討し、平成25年度から取り組み、県内の土地改良区で活用されている。



連携イメージ



賦課システムの水掛り項目による色塗り



期待される効果

土地原簿と整合の取れた地番図ができるため、正確な受益が把握できると同時に組合員等からの問い合わせにも迅速に対応でき、属性情報による色分けや検索・集計・印刷などの機能を活用することで事務の省力化が図られるとともに、水土里情報システムにより可視化を行なうことで、情報の共有化にも役立つことが期待できる。

今後の活用予定

今後は、水利施設台帳とも連携させ、維持管理計画書の作成や複式簿記導入の際の財産管理台帳の作成等に活用するなど、水土里情報システムの充実を図り、利用推進に努めていく予定である。

■お問い合わせ先

千葉県土地改良事業団体連合会 管理指導部 支援課 043-241-7745

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)